

【学校教育目標】 自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる

【校訓】 かしこく やさしく たくましく

～みがけ かがやけ 魅力あふれる子どもたち～

【目指す学校像】

- 子ども、教師、保護者、地域が学び合い対話があふれる楽しくてしょうがない学校
- 子ども一人一人のよさを大事にする学校
- 清掃が行き届き、環境が整備されたきれいな学校

【目指す子ども像】

- 将来の自分の姿を考え学び続ける子ども
- 自分も友達も大切に、思いが伝わり合うように対話する子ども
- 健康でたくましい子ども

【目指す教師像】

- 自分を知り、自分の職務に真摯に向き合い、まず実践する教師【OJT】
- 共に理解・尊重し合い、協働する教師
- 一社会人として、また、子どもの模範となる教師（不祥事根絶への取組）

エチケットやマナー  
ルール、モラルの育成

一事徹底「きれいにそうじ（清掃活動）」

一校一運動「ストレッチ運動」

屋久島一周チャレンジ

一家庭一運動「ストレッチ運動」

人権同和教育

- \* 心理的安全性の確保《全員へ声かけ》
- \* 多様性を見極めと寛容《オープンエション》
- \* 他者を尊敬する言葉遣いや態度《きれいなあいさつ1日3回》

特別支援教育

- \* 「個別最適な学び」の定着（令和の日本型学校教育の構築）《毎時間》
- \* インクルーシブ教育システムの構築（ユニバーサルデザイン）《毎学期》

道徳教育

- \* 道徳的实践意欲を高め、道徳的態度へとつながるための授業の充実

屋久島型ESD

世界を学ぶことで、今の自分、屋久島をよりよく知る。より豊かな地球をつくるために。  
\* 屋久島という題材を、全教科・領域に関連付けた教科横断的な学び（総合、生活科を中心に）

やさしく

★ 児童活動

- ★ 「あいさつ」「はきものをそろえる」「廊下歩行」の定着

★ 幼小・小中・小小連携の充実

- 《幼小：毎日情報交換》
- 《小中：毎学期情報交換》
- 《小小：毎学期リモート授業》

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有・活用

- ★ 読書指導の充実《語彙力の向上》  
（読書に親しむ環境 図書室の教科的活用）  
《低学年100冊》《中学年80冊》《高学年60冊》

- ◆★ 「考え、議論する道徳」の実践  
《対話活動を充実させた週1回の授業実践》

- ◆★ 地域を生かした体験活動（地域学校協働活動）

- ◆★ キャリア教育の充実（キャリアパスポート）  
《100%実施》

研究テーマ

「自分なりに学び、みんなで学ぶ」子どもの育成  
～「対話」を通して考えを深め、  
自己を見つめる道徳科授業の工夫～

学校の組織力を高める

- PDCAサイクルの意識化と共通実践  
・ 目標を明確にする成果と課題及び改善
- 校務分掌の有機的関連性と計画的運営
- 職員研修を活用した資質・能力の向上  
・ 「かごしま教員育成指標」の活用  
・ コミュニケーションスキルの向上

★● 全校支援体制の推進（共通理解 共通実践 迅速な情報共有 素直な心の育成）

★● 安全指導の充実（個の判断力を育てる避難訓練 危機回避能力・KYT）《行事毎にKYT実施》

- ★● 情報の共有化と共通実践（共有 協働 引継）  
・ 学校楽しいと（3回）等の実施《年8回》  
・ 関係機関との連携《ケース会議 随時》

★● 環境の主體的整備（清掃活動 栽培活動）

- ★● 安全点検（通学路を含む）・衛生点検の充実  
《毎月の点検、危機管理マニュアルの再編》

学年・学級経営

（目的意識 所属感 協力）

- ◆● 情報教育の充実（情報モラル教育 プログラミング教育）《タブレット毎日活用》  
・ ICT機器・高速ネットワーク環境を活用した「個別最適化された学び」の推進  
・ リモート授業 ・ 授業支援アプリの使用法の研究 ・ ICTの改善《毎学期一改善》

- ◆● 職員研修の充実（相互参観 授業実践を通じた研究 コミュニケーションスキルの向上）  
《相互参観週2回、検証授業年3回》

- ◆● 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実（タブレットをツールとして活用）  
・ 主體的・対話的で深い学び（授業改善）⇒ 資質・能力の育成（参照：学習指導要領 前文）

- ◆ 家庭学習の習慣化（授業と実生活の連動 家庭学習に取り組もうとする意欲の育成）《毎月の啓発活動》

- ◆ 活用力を高める探求型授業の実践  
《相互授業参観表》  
・ 考えさせるめあて、協働的な学び、振り返り、できるまでの見届け《毎時間》  
・ 語彙力の育成《国語辞典随時活用》 ・ 計算力の育成《小テスト等毎時間実施》

◆ 教科等経営

かしこく

家庭・地域との連携

- 教育相談の充実（関係機関との連携）《ケース会議随時》
- PTA活動の充実《職員の参加率80%》
- 学校便り・HPでの学校情報発信《HP 毎週更新》
- コミュニティスクールを目指した連携《年4回情報共有・熟議》  
（学校関係者評価委員会・信頼される学校づくり委員会・地域学校協働活動）
- 山海留学制度（児童増対策委員会 じょうもん留学）の積極的な取組
- 地域行事への積極的参加（連携、人材・資源の発掘）《職員の参加率80%》

校務運営

各種委員会

管理運営

事務会計

学びの目標を明確にし、説明責任を果たし、社会に開かれた学校づくりをすすめる

～サービス規律の厳正確保と交通違反・事故防止 情報の適正な管理～

～働き方における職員の意識改革(教育内容・方法の見直し、校務支援ソフトの活用) 働き方改革(できることから)～